

# 令和3年度東京都立三田高等学校 学校経営計画

Have Wings And Fly High! - 教養・探究・立志そして世界へ -

目指す学校<教養・探究・立志そして世界へ>

(1) 学校の教育目標＝教養人・リーダー・開拓者の育成	(2) 目指す生徒像＝自律・自学・チーム三田の力で高い志の進路実現	(3) 学校の教育目標を達成するための基本方針
ア 幅広くしなやかな知性と潤い豊かな感性をもつ教養人 イ 自主・創造の意欲と忍耐力・協調性との調和のとれた高い徳性をもつリーダー ウ 自己を厳しく律し常に進取の気概をもって社会貢献できる開拓者	ア 品位ある生活態度と社会性を備えた生徒(自律) イ 明確な目的意識をもって自ら学業に励む生徒(自学) ウ 特別活動を通して学校への帰属意識を高め、進んで切磋琢磨する人間関係を築く生徒(チーム力)	ア 問題・課題の発見から解決に到る主体的な学びを通し、個性・独創性の発現につながる質の高い学力を育む。 イ 体験活動、集団活動を通して、自主・自律の心、集団や社会の一員として自覚、社会貢献の精神を育む。 ウ キャリア教育を通して自己理解を促し、チャレンジ精神や進路実現に必要な資質能力を育む。 エ 国際理解教育を推進するとともにわが国の伝統・文化に対する理解を促し、真の国際人・教養人を育成する。

2030年まで                      \*SDGsの17の目標と169のターゲットを意識した教育活動を行う。  
    \*生徒・教職員全員でエシカルな行動を実践すると共に実現を凶ろうとする人材を育成する。  
    エシカルとは、地球環境や国際社会、またそこに暮らす全ての人々にとって、より良い行動をしようとする考え方

2023年まで                      \*創立100周年記念行事に向けて、実行委員会を立ち上げ、準備を進める。

	組 織	取組目標 方策	今年度の重点目標
中 期 的 目 標 と 方 策	全 体	(1) 「主体的な学び」の構築(学習指導)  ① 「三田の主体的な学び」の理念を共有し、実践する。 ② 「高い志の進路指導と国際理解教育」を実践し、グローバル人材を育成する。 ③ 東京都教育委員会指定事業「Society5.0 に向けた学習方法研究校」「英語教育推進校」等に取り組む。	ア 指導教諭を核に、教科主任会を定例実施し、『林窓』に則った「主体的・対話的で深い学び」の授業の実施(例えば、生徒が生徒を教える授業の実施)を推進し、学力伸長と基礎体力の向上を図る。授業では与え過ぎず、ルーブリックを活用し、思考スキルの獲得を推進する。また、生徒一人PC1台に対応した授業及び学習方法を研究・実践する。 イ 国や都の教育改革・教育施策の動向を直視し、新学習指導要領及びグランドデザインに基づいた教育課程が実践(観点別評価を含む)できる準備をする。 ウ 全教科で「新しい価値」を創造する探究学習に取り組む。進路実現につながる4技能の英語の育成に取り組み、オリ・パラ教育を活用し、国際理解教育を充実させ、レガシーとして残す。
		数値目標	○学校評価アンケート「学習指導の満足」の生徒肯定評価85%

<p>(2) 自律・自学・チーム力による高い志の進路実現 (生徒指導・進路指導)</p>	<p>① 「時を守り、場を清め、礼を正す」指導を励行する。 ② 自学自習習慣の確立を図り、目的意識をもって主体的に学ぶ態度を育成する。 ③ 望ましい人間関係を育み、協調・協働の精神や連帯意識を涵養し、帰属意識を高める。 ④ SDGsを意識した進路実現を目指す。</p>	<p>ア 「生活指導指針」に基づき、学校の基礎となる品位ある生活態度、ルールとマナーを基本とした、自律性を育成する。 イ 教科学習以外に、大学・研究機関・関連機関主催の校外活動への参加を推奨し、視野を広げ、高い志を培う機会を与える。 ウ 生徒会・HR 活動・学校行事・部活動等の組織運営について、生徒の委員会が中心となって、生徒主体に運営する。 エ 生徒会を中心にエシカルな行動を学校全体で実践する。</p>
<p>(3) 戦略的な広報活動の展開</p>	<p>① 本校の教育に理解と共感を抱く保護者・生徒の拡大を図り、「高い志の進路指導と国際理解教育」の具現化に意欲のある生徒の獲得を目指す。 ② 「教養・探究・立志そして世界へ」をスローガンとする国際理解教育を積極的に発信する。 ③ 保護者、地域、都民の信頼を得る学校づくりを推進するとともに、保護者を含めた都民に偏差値だけではなく、「大志を実現するために進学する」という価値観を広める。</p>	<p>ア 教職員全校体制による広報活動を展開するとともに、学校説明会等の広報活動に生徒の力を活用する。ホームページ・学校便り・校内掲示板等を有効活用した広報活動を展開する。 イ 生徒の(海外)修学旅行・MITAESPA・大使館訪問・ユネスコ活動・姉妹校交流等を積極的に支援し、その成果を発表する機会を設け、進路実現に結び付ける指導を推進する。 ウ 保護者との連絡体制を強め、共に生徒指導・進路指導に当たると同時に、近隣の教育機関や行政機関等との積極的な交流を推進し、併せて学校運営連絡協議会・学校評価アンケートの実施と分析を通し、得られた意見を学校改善に活かす。</p>
<p>(4) 信頼に基づく安心・安全な学校環境</p>	<p>① 体罰根絶・いじめの未然防止・自殺防止に資する教育の推進をとおして、生徒の心身の課題を早期に発し、早期に対応する。 ② 災害時等における生徒の安全確保のため、組織的かつ迅速な対応体制を実現する。 ③ 教育公務員としての高い使命感と・倫理観をもち、服務規律を遵守し、協働意識をもち、ライフ・ワーク・バランスを意識して職務に取り組む。国のガイドラインを踏まえた都教委の方針に基づいた働き方改革を推進する。</p>	<p>ア 生徒の人権を尊重した教育活動を推進するとともに、体罰防止・いじめ防止アンケートを実施し、生徒理解・発達障害の理解に向けた研修や事例研究をSCや精神科医と連携して実施しながら、諸課題の未然防止、早期発見に努める。SNS三田高ルールの徹底を図り、いじめの未然防止を徹底する。 イ 生徒による防災支援隊を組織し、自助・共助を育成する地域機関と連携した全校での防災訓練、避難訓練を実施する。定期的に校内の危険個所の点検を実施し、迅速に安全確保の対策を講じる。また、セーフティ教室(薬物・SNS等)を通じて、自己を大切にする気持ちを育む。 ウ 教職員集団が、個人情報管理やクリーンデスクの徹底や体罰防止・サービス事故防止研修を通し、協働意識をもって、職務に取り組む。業務の効率化を図り、外部人材の活用やICT機器の効果的な活用等による働き方改革を推進する。</p>
	<p>数値目標 ○学校評価アンケート「自ら学習」の生徒肯定評価80%</p>	
	<p>数値目標 ○応募倍率2倍の維持 ○ホームページの更新の増加</p>	
	<p>数値目標 ○学校評価アンケート「学校入学満足」の生徒肯定評価90%</p>	<p>○サービス事故ゼロの維持</p>

今年度の取組	各教科	「高い志の進路実現」を支える学習指導の展開	<p>① 三田高校学力スタンダードを定め、基礎基本の学力を伸ばし、生徒一人一人の進路実現を可能にする学力の定着を図る。</p> <p>② 知的探究イノベーター推進事業内容を継続させ、全学年・全教科で「主体的・対話的で深い学び」によって、総合的かつ横断的に物事を捉える力や論理的思考力や表現力や将来にわたって生きて使える学力の育成を図る。</p> <p>③ 新学習指導要領の理念や高大接続改革教育についての知見を高めると同時に、授業改善に取り組み、生徒の自己実現を支援する授業力・進路指導力の向上に努める。</p>	<p>ア 教科会の定例開催によって「林窓」に則り、探究活動を意識した授業を実施し、基礎基本を培う鍛える授業・双方向の授業を展開し、教材や課題プリント、考查問題の共有化を図り、教員相互の授業力を向上させる。考查問題も含め、観点別評価を見据えて評価をどうすべきなのか、検討する。</p> <p>イ Teams の活用は必須とし、オンライン・オンデマンド授業も含めて、言語能力の向上、コミュニケーション能力の向上、探究する力の伸長を目指し、図書館の活用の推進や調べ学習、グループワーク、課題解決学習、実技、実験、実習、プレゼンテーション、レポート作成の指導、ICTの活用等に取り組む。</p> <p>ウ 校外の研修会に積極的に参加し、自らの知見を高める努力をすると同時に、生徒による授業評価を実施し、授業改善に還元し、指導教諭を中心に、相互の授業見学（授業公開週間などの設定）や研究協議等の校内研修を充実させ、定期的な教科主任会議によって、組織的な授業改善に取り組む。4技能の英語教育を充実し、英語をツールとして使える人材を育て、大学入学共通テストにも対応する力を養う。</p>
		数値目標	○学校評価アンケート「学習指導の満足」の生徒肯定評価85%	
今年度の取組	各学年	3年間を見通した、継続的・計画的な指導を通じて、生徒一人一人の高い志に根ざした進路希望の実現	<p>① 第一志望の進路実現を果たすために、主体的な学びを推進し、基礎基本の学力の確実な定着を図る。</p> <p>② 品位ある生活習慣や自己管理できる態度を育成し、心身の健康と安全に配慮し、自律的な学校生活を送れるように指導する。施設設備面や人間関係において、生徒が安心安全な学校生活を送れるよう、様々な視点で学習環境を整える。</p> <p>③ 国際理解教育や進路指導を通じて、生徒が将来を考え、自らの進路を選択し、決定していく支援を行う。</p>	<p>ア 「林窓」「合格への道」に基づき、生徒一人一人の進路実現に向け、計画的な学習指導・生活指導・進路指導を行う。</p> <p>イ 学校行事や部活動の活性化により、学校への帰属意識の向上と達成感・成就感を伸張させる。面談やHR活動を通じて、生徒理解に努め、生徒が安全に安心して意欲あふれる学校生活を送れるように指導する。カウンセリングや面談を活用し、発達障害等の特別な支援が必要な生徒を把握し、適切な生徒指導に生かす。</p> <p>ウ 生徒の個人データや学年通信・集会等を活用し、様々な挑戦の場を示し、進路意識の啓発に努め、高い志の進路実現を支援する。</p>
		数値目標	○学校評価アンケート「学校入学満足」の生徒肯定評価90%	
今年度の取組	教務部・教育情報	「高い志の進路希望」の実現を図る特色ある教育課程を管理	<p>① 「高い志の進路指導と国際理解教育」を推進する教育課程を、進路指導部・国際教育部と協働して管理する。</p> <p>② 「Society5.0に向けた学習方法研究校」として、新しい学びの中での探究活動を重視した教育課程の実践を図る。</p> <p>③ 公平公正な入学選抜を実施し、本校の教育理念に賛同する優秀な人材を集めるとともに、適切な学籍管理によって信頼に応</p>	<p>ア 国際理解教育と進路指導に配慮し、本校の教育目標達成のために適正に学校行事を管理する。</p> <p>イ 新学習指導要領を見据え、確かな学力の定着と第一志望の進路実現を可能にし、「知的探究イノベーター推進事業」の経験に基づき、探究活動を重視した教育課程を実践する。</p> <p>ウ 推薦選抜・学力検査一次・帰国生入試等の入選業務を適切に遂</p>

報 部		える。	行する。学籍・成績等の生徒の諸情報を、成績管理サーバーの活用によって適切に管理する。
		数値目標	○入学選抜業務に関する事故ゼロ ○「新学習指導要領実施までのスケジュール」の遂行
今 年 度 指 導 の 取 組	学校生活全体を通して、集団や社会の一員として、自律・自立した生徒の育成。	① 「時を守り、場を清め、礼を正す」指導を推進し、品位ある学校生活を維持する。 ② 行事・部活動等の支援体制を整備し、生徒が主体となって運営し、達成感と成就感を得る特別活動の充実を図る。 ③ 相互の人権を尊重し、自他の生命を大切にする教育を行うと共に、生徒の防災教育を推進する。	ア 「三田高校生活指導統一基準」に基づき、生徒に、「規範・規律」の意識を確立させ、遅刻防止指導・身だしなみ指導・挨拶励行等の基本的な生活習慣を確立し、品位ある学校生活を送るよう指導する。 イ 主体的に学習及び体育祭・白珠祭・合唱コンクール等の学校行事、HR活動・生徒会活動・委員会活動等の特別活動の両立を果たし、文武両道の学校生活を営めるよう指導する。 ウ 「SNS三田高ルール」「SNS家庭ルール」を徹底し、ネット社会の情報モラルを涵養し、自他共に安心安全に過ごせる学校環境を保つ。
		数値目標	○学校評価アンケート「学校行事」の生徒肯定評価85% ○遅刻の前年度比の減少
今 年 度 の 取 組	生徒の自己管理能力を育成し、健康で安全を心がける生徒の育成	① 清掃や校内美化の指導を通して、自らの学習習慣を整える態度、社会性や公共心を育成する。 ② 心身の健康管理や食育等を通して、学力の基礎となる健全な生活習慣の確立を図る。 ③ 情報交換会、研修等を企画運営し、生徒理解に基づいた学習指導・生活指導を支援する。	ア SDGsの理念に基づき、リサイクル等の環境に配慮したゴミの分別を促す指導を推進する。 イ 自己の健康管理に留意し、進んで、新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染予防に努め、健全な生活習慣の確立を促す指導や、スマートフォンによるゲーム依存症等の睡眠不足予防、人間関係に起因する心の不安定を解消する指導を推進する。 ウ 担任・生活指導部・スクールカウンセラー・精神科医と連携し、いじめ防止・特別支援教育・通級による指導・発達障害・性的マイノリティへの理解指導を推進する。
		数値目標	○5月中旬までに1年生入学時全員面接終了 ○生徒理解のための研修開催（年2回以上）
今 年 度 指 導 の 取 組	教養人の育成を目指すことによる、「高い志の進路実現」	① 学年と連携を図り、生徒一人一人の「高い志の進路実現」に向け、計画的・意図的に進路情報を提供し、段階的・系統的な進路指導を実施する。 ② カリキュラムマネジメントの中核として、教育改革の変化を迅速に捉え、本校の教育改善に資する提案・提言を行う。 ③ 進路指導室、図書室の資料を整備・充実させ、将来や進路を考える糧にできる資料を提供する。	ア 「教師版進路の手引き」を有効活用するよう教員集団を主導し、本校の「ブレない」進路指導を実践し、生徒一人一人の進路実現＝志望校合格を支援する。 イ 新学習指導要領対応の授業改善、大学入試改革に対応する進路指導、教育課程実践に向けた作業の支援に積極的に関与する。 ウ 主体的な学習・探究的な活動のベースとしての図書室の充実、都立中央図書館・港区立三田図書館の活用を促し、読書指導の充実を推進し、生徒の読書量を向上させる。
		数値目標	○進学実績の維持

今年度の国際教育の取組	本校の特色である国際理解教育の推進によって、生徒の幅広い「高い志の進路実現」	<p>① 各学年、進路指導部と連携を図り、「高い志の進路実現」の土台となる国際理解教育を系統的・計画的に推進する。</p> <p>② オリンピック・パラリンピック教育の推進や生徒の海外交流の場を確保して、積極的な活動を支援する。</p> <p>③ 帰国生徒の本校における学校生活を支援する。</p>	<p>ア (海外) 修学旅行、国際理解シンポジウム、国際理解講演会、留学生が先生、グローバル市民デーを学年と連携して企画運営し、ユネスコ委員会・国際理解委員会を組織し、生徒の主体的な活動を支援し、国際理解教育を推進する。</p> <p>ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクトに取り組む。</p> <p>イ 各教科と連携し、教育活動に、オリンピック・パラリンピック教育を浸透させていく。英語科と連携し、MITAESPA、次世代リーダー育成道場等の海外留学の支援、海外からの訪問団の受け入れ等の海外交流の調整や企画・運営を行う。</p> <p>ウ 帰国生徒の個性を尊重した活躍の場を提供し、全生徒の国際感覚を養う。</p>
		<p>数値目標</p> <p>○学校評価アンケート「世界に向けて視野を広げる教育」の生徒肯定評価80%</p>	
今年度の庶務の取組	地域に開かれた学校作りと学校環境の整備の推進	<p>① PTA・同窓会・後援会との連携を深め、教育環境の充実に努める。</p> <p>② 効果的な広報活動を推進し、教育活動を周知するとともに、募集対策を実施する。</p> <p>③ 式典の挙行・施設整備の整備等を推進する。</p>	<p>ア 年3回の学校運営連絡協議会を開催し、学校評価アンケートを実施し、PTA・同窓会・後援会・地域の関係機関および有識者の声を学校教育に活用する。</p> <p>イ 生徒の活躍を前面に出した広報活動と、ホームページの迅速な更新と内容の充実で、魅力ある学校広報を推進する。また、SDGsやエシカルな行動などの情報発信を多くし、保護者に対しても学校の見える化を促進していく。</p> <p>ウ 適正な教育課程に基づき式典を挙げる。</p>
		<p>数値目標</p> <p>○校内説明会参加者数延べ5000人</p> <p>○応募倍率2倍の維持</p>	
今年度の経営企画の取組	学校経営へ積極的に参画し、円滑な教育活動の支援	<p>① 経営参画ガイドラインにより、経営参画型の事業を推進する。</p> <p>② 自律経営推進予算と推進校予算を効果的に組み合わせ、最大限の教育効果を上げる。</p> <p>③ 校内の施設・設備の整備を推進し、学習環境を保全する。</p>	<p>ア 教職員と連携を図り、マイナンバーカードを始めとする保有個人情報等を安全に管理する。</p> <p>イ 予算を有効に活用し探究学習・国際理解教育を支援し、感染症対策の徹底を図る。</p> <p>ウ 体育館空調設置工事を計画どおり、安全に配慮して実施する。</p>
		<p>数値目標</p> <p>○「ガイドラインステップ3」まで達成</p> <p>○電子起案率90%以上</p> <p>○予算執行におけるセンター執行率60%</p>	